シートNo. 0415101	事務事業名	災害時備蓄事業		部·課·係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No. J004145	開始年度	平成24年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

	※宝時には	らける備蓄体制を構築するだ	- め 小郡市	※宝哇借	装計画に其	づき 行政権	農芸体制の整備	を行うとともに				R03年度	R04年度	I
		・行政が一体となった備蓄				JC、 J以	田田子でいり、正正田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	1211 /22 0121		_	当初予算	5.494	2.396	_
事業の目的											補正予算	1,232	۷,390	/
										AV	 前年度から繰越	1,232		
	+ D A #	*・行政が一体となって、災害	Potte 27 mm+	- 金州 5次	*** ++ *** + *		7+の 士 が仁さ		予算額・	予算				
		₹・行政が一体となって、災害 こ基づいて、更新を計画的(執行額 (単位:千円)	状況	翌年度へ繰越			
		会を行い広報・啓発を図る。							(単位:十四)		予備費等	53		
		推進していく。									計	6,779	2,396	
T-A-100-											執行額	5,376	1,723	. /
										執行率(%)		79%	72%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
担加什么	災害対策	基本法、小郡市地域防災	計画、小郡で	市災害時備	蓄計画					国	庫支出金	3,901		
根拠法令、 関係計画、											支出金			
通知等										使.	用料·手数料			
ALL PIN 13										分	担金·負担金等			
				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		財	産収入			
活動目標及び							活動見込	活動見込		10000	入金	2,825	2,396	災害対策基金
活動実績1	活動指標	市の備蓄食料数	活動実績	食	16,460	12,418				諸	収入			
(アウトプット)			当初見込	食	12,000	12,000				繰	越金			
							R05年度	R06年度		地	方債			
舌動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源	53		
活動実績2	活動指標		活動実績						7 40 da 20		計	6,779	2,396	
(アウトプット)			当初見込						予算内訳 (単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度					用費	2,392	1,963	食料・飲用水・衛生用品・液体ミルク
			単位当たり	円/人	505.3	350.6					用料及び賃借料	433	433	倉庫賃貸借料
単位当たり	合料供給於	象人口4000人に要する一人	コスト	11/7	000.0	000.0					品購入費	3,901		
コスト	当たりの更新		計算式	X/Y	2,021,210/ 4,000	1402532/4 000					託料 繕料	53		
	成果目標	行政備蓄に必要な備蓄数の確保		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度						
		唯冰	成果実績	食	16,460	12,418	-	-						
			目標値	食	12,000	12,000	12,000	12,000						
成果目標及び 成果実績1	成果指標	備蓄食料数	達成度	%	137	103	-	-						
(アウトカム)	44 5 5 4				I	1	I	l		-	計	6.779	2,396	
	補足説明	主食となる液体ミルク、かゆ、な	らにぎりを計上							正職員		0.15	0.3	
	TC 190	7.m.+								再任用		0		1 /
	根拠と	で用いた 9名(出典)							投入工数	소計수	F度月額	0		1
	496B1 7	/ ц (щ ж/	_		1	I			(単位:人)			ı ,		
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計年	F度日額	0		
	成果目標		# III m/+		~		年度	年度	i Is	計 表入 =	L/~ m\	0.15	0.30	/
******			成果実績		ļ						ナ(千円) エロン	1,110	2,220	
成果目標及び 成果実績2	成果指標		目標値	%						費用(6,486	3,943	/
			连队技	%		1		l	人件費等の修正(千円) 総費用(千円)※人件費等修正後			6.486	3.943	-
(アウトカル)										11/20/	、	0.480	3,943	-
(アウトカム)	補足説明								, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		11124 4 12 - 24	-,	•	

シートNo.	0415101	事務事業名	災害時備蓄事業		部•課•係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No.	J004145	開始年度	平成24年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		2/2ページ

	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点核				
		評価	評価に関する説明	評価				
	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	Δ	全アレルギー対応の品目にすることで、災害時においても市民が安心して食するものに見直しを行っているが、更新時に入れ替えをしているため、まだ全アレルギー対応になっていない備蓄食料がある。	Δ	全アレルギー対応の品目にすることで、災害時においても市民が安心して食するものに見直しを行っているが、 更新時に入れ替えをしているため、まだ全アレルギー対応になっていない備蓄食料がある。			
栗の必	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	市が備蓄するものであるため、他の者に委ねることはできない。	0	市が備蓄するものであるため、他の者に委ねることはできない。			
更生	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	ライフラインが寸断される大規模な災害発生時に備える必要があるため重要な事業。	0	ライフラインが寸断される大規模な災害発生時に備える必要があるため重要な事業。			
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	食料と飲料水の入札を分割することで、競争性を確保し、複数の競争入札結果から契約を行っている。	0	食料と飲料水の入札を分割することで、競争性を確保し、複数の競争入札結果から契約を行っている。			
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無				
事業	受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-				
ð	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-				
生	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	備蓄計画に基づき必要な食料等を備蓄している。	0	備蓄計画に基づき必要な食料等を備蓄している。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	-		-				
.	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	備蓄計画に基づき必要な食料数を満たしている。	0	備蓄計画に基づき必要な食料数を満たしている。			
E D	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	0	品目の変更や長期の保存期間等に見直しすることでコストを下げられる可能性がある。 飲料水については消費期限が5年保存から12年保存の商品に入れ替えを行っている。	0	品目の変更や長期の保存期間等に見直しすることでコストを下げられる可能性がある。 飲料水については消費期限が5年保存から12年保存の商品に入れ替えを行っている。			
力	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		備蓄計画に基づき設定している。		備蓄計画に基づき設定している。			
生	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	保存期間1年未満の入れ替えする食料等は、家庭内備蓄を啓発するために利活用している。	0	保存期間1年未満の入れ替えする食料等は、家庭内備蓄を啓発するために利活用している。			
月車	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)	×	新型インフルエンザ等の感染症対策として重複している備蓄品(手指消毒やマスク等)について、共通管理できるものや役割分担をして一体的に管理することができる可能性がある。	×	新型インフルエンザ等の感染症対策として重複している備蓄品(手指消毒やマスク等)について、共通管理できるものや役割分担をして一体的に管理することができる可能性がある。			
事業	連番 事業名							
	点 検 点検結果 ・ 改	行って	5災害時備蓄計画に基づき、備蓄食料・生活必需品の更新を行った。備蓄計画に基づき備蓄をいるが、保存期間の長い商品や新たな備蓄食料品等が出てきているため、低価格で誰でも食べやのがあれば、随時見直す必要がある。	館の避 対策と 期間の	5災害時備蓄計画に基づき、備蓄食料・生活必需品の更新を行った。大崎市民館・下岩田市貝 難所の災害種別を変更したことにより、防災倉庫を設置し、 資機材を購入している。また、感染式 してパーテーションテントを各避難所に設置している。 備蓄計画に基づき備蓄を行っているが、保存 D長い商品や新たな備蓄食料品等が出てきているため、低価格で誰でも食べやすいものがあれば、 見直す必要がある。			
	善 結 ・ 改善の方向性		ている食料等より低価格で良い品物があれば、随時備蓄計画を変更していき、災害時に市民が て食することができるものに変更していく。		.ている食料等より低価格で良い品物があれば、随時備蓄計画を変更していき、災害時に市民が .て食することができるものに変更していく。			

シートNo. 0415102		災害対策本部事業		部∙課∙係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No. R020006	開始年度	昭和46年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

		時に市民の生命・財産を守						対策本部の強				R03年度	R04年度	
事業の目的	化を図り、1	適時適切な避難情報の発 ^っ	で何報伝』	差、災害へ	の対心の能	刀を미上り	ර ං				当初予算			
子木の口口											補正予算			
									予算額.	予算	前年度から繰越			
		は市全体で行う必要がある。							執行額	状況	翌年度へ繰越			
		状況に対して適時適切な		よう訓練等	を行い、災	害対策本部	の機能強化を図	図り、各対策班	(単位:千円)		予備費等			
	や関係機関	退と有機的に連携した災害	対心を行つ。								計	0	0	
事業概要											執行額		_	
										-	執行率(%)			
										-	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	災害対策:	基本法、小郡市地域防災	+ 画							国	庫支出金	1100千及	110寸一及	100千度の工る収入に160(日前等)
根拠法令、	X D A) A	至个人、小小小儿也会的人。								_	支出金			
関係計画、												-		
通知等											用料・手数料			
		T	_								担金・負担金等			
红影口梅 节**				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			産収入			
活動目標及び 活動実績1	活動指揮	研修会及び訓練の回数	江野中往				活動見込	活動見込			入金	-		
石馴失模! (アウトプット)	心划扫惊	wi 咳云及U訓練の凹剱	活動実績	回	4	7					収入			
(7 71771)			当初見込		5	5	8			繰	越金			
							R05年度	R06年度		抽	方債	 		
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源			
活動実績2	活動指標		活動実績				711 20702	711 2070 2			計	0	0	
(アウトプット)			当初見込						予算内訳			R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠	31000.2	単位	R03年度	R04年度			(単位:千円)	l —	成山了开	1100千皮	1104千皮	104年及び上は民歴
		异田依拠	単位当たり											
単位当たり			コスト	円	1,665.0	845.7								
コスト	人件費/研	修会及び訓練の回数												
			計算式	X/Y	6,660/4	5920/7								
		災害情報等配信システム定		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度						
	成果目標	灰台情報寺配信ラステムに 期配信訓練受信確認率を			1100 172	1101112	年度	R07 年度						
		令和7年度までに100%	成果実績	%	62	55	-	-						
			目標値	%	100	100	_	100						
成果目標及び	成果指標	災害情報等配信システム定												
成果実績1	风木田棕	期配信訓練受信確認率	達成度	%	62	55	-	-						
(アウトカム)								<u> </u>		-	計	0	0	
	補足説明	毎月15日実施								正職員		0.9	0.8	
										再任月		0.3	0.0	
	根拠とし	て用いた 災害情報等配信	ミシステム定期	配信訓練確	1200 大沢				投入工数					
	統計・データ	9名(出典)	17/1/2/2/01	HO 12 27 19K H	LDC 5170				(単位:人)	会計4	年度月額			
							中間目標	目標最終年度		会計组	年度日額	0		
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	年度	年度		計		0.90	0.80	
			成果実績						人件	費合語	十(千円)	6,660	5,920	
AB - 44 - 4	出田北坪		目標値							費用(6,660	5,920	
成果目標及び 成果実績2	成果指標		達成度	%					人件多	等の修	正(千円)			
以来天積2 (アウトカム)	補足説明										人件費等修正後	6,660	5,920	/
())[7]	無足武明											_		
	担加ト	て用いた				·								
	統計・デー													

	15202 事	務事業名	災害対策本部事業			部·課·係	経営政策部	防災安全課		防災係	
事業No . R02	20006 閉	開始年度	昭和46年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者	防災安全課長		2/2ページ

	事条NO. R020000 開始平度 昭和4	40平皮	. 終」ア疋千度 終」ア疋なし 旭東コート P1013		TFIX.具任名 防火女主味長 2/2ペータ
	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
		評価	評価に関する説明	評価	
事	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	近年頻発している災害から市民の生命・財産を守るために行っているため。	0	近年頻発している災害から市民の生命・財産を守るために行っているため。
栗の必	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	災害対応は市職員の責務であるが、一部地域住民の協力を得ている。	0	災害対応は市職員の責務であるが、一部地域住民の協力を得ている。
要性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	市民の生命・財産に係るため。	0	市民の生命・財産に係るため。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロボーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				
事	競争性のない随意契約となったものはないか。 受益者との負担関係は妥当であるか。	_		_	
木の効	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-	
率性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-		-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_		-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	_	本番を想定し、梅雨時期前や内容に応じて訓練を実施した。	-	本番を想定し、梅雨時期前や内容に応じて訓練を実施した。
事	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと	0	全体を拡圧し、毎回时期前や内谷に応じて訓練を実施した。 全て自前で訓練内容を企画し実施している。	0	全体 であたし、 使用 中 物 削 ヤ 内 会 に か し と 加 味 を 夫 悲 し た 。 全 て 自 前 で 訓練 内 容 を 企 画 し 実 施 し て い る 。
ô	比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	成果としては判断することは難しいが、年々災害対応が円滑に進むようになってきている。	0	成果としては判断することは難しいが、年々災害対応が円滑に進むようになってきている。
効	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	Δ	災害対応に必要な資機材については、有効に活用している。しかし、災害時」の情報共有は、個人所有物を	Δ	災害対応に必要な資機材については、有効に活用している。しかし、災害時の情報共有は、個人所有物を
	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を		使ってしている。 災害時の対応は、消防団、消防署、警察、自衛隊等と連携し役割分担ができている。		使ってしている。 災害時の対応は、消防団、消防署、警察、自衛隊等と連携し役割分担ができている。
関連事業	行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 はまま	0		0	
*	事業名	近年	全国で多発している災害等から法律の変更や新たな取組がある中で、小郡市の実情に応じた対	近年	 全国で多発している災害等から法律の変更や新たな取組がある中で、小郡市の実情に応じた対
	点 検 ・ ・ 改	応がで システ <i>L</i> た資源	きており、年々市職員の防災意識は向上しているため継続して行う必要がある。災害情報等配信 、定期配信訓練を実施することで市職員や関係機関の更なる意識向上を図る。また、本市にあっ の活用や体制の見直しを全庁的に推進することが、災害対応の能力を向上することにつながる。	応がで システ <i>I</i> た資源	きており、年々市職員の防災意識は向上しているため継続して行う必要がある。災害情報等配信 公定期配信訓練を実施することで市職員や関係機関の更なる意識向上を図る。また、本市にあっ の活用や体制の見直しを全庁的に推進することが、災害対応の能力を向上することにつながる。
	番 結 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	定期配	関する訓練や研修を定期的に実施し、災害への対応を迅速に実施できる体制づくりを推進する。 信訓練の受信確認率を向上することで災害発生時の迅速なかつ確実な情報伝達を推進してい 、災害に関する情報の収集など、共有についても有効な手段を検討していく。	定期配	.関する訓練や研修を定期的に実施し、災害への対応を迅速に実施できる体制づくりを推進する。 2信訓練の受信確認率を向上することで災害発生時の迅速なかつ確実な情報伝達を推進してい :、災害に関する情報の収集など、共有についても有効な手段を検討していく。

シートNo. 0415103	事務事業名	自主防災組織育成事	業			経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No . J004123	開始年度	平成24年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

							 .							
		組織が防災・減災を目的と	して実施する	活動を促進	₤し、地域防災	ジカを強化する	ることで災害時の	の被害の防止と				R03年度	R04年度	
古書の口が	軽減を図る	0.									当初予算	1,000	1,000	
事業の目的											補正予算			
									予算額·	予算	前年度から繰越			
	災害が発生	生した場合、地域が自主的	な防災活動	をできるよう	に 地域の実	情に広じた姿	機材等を整備で	お自主防災組		状況	翌年度へ繰越			
		補助金を交付し、各行政は								10000	- 五千及八條 <u></u>			
		平時から研修会等を開催し							(4E.113)					
事業概要											計	1,000	1,000	
7-101002											執行額	541	809	
											執行率(%)	54%	81%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	災害対策	基本法								玉	庫支出金			
根拠法令、										県	支出金			
関係計画、											用料•手数料			
通知等											担金・負担金等			
		I			1		R05年度	DOC在中	-					
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度		R06年度			産収入	1 000	1 000	《宝社等其会
活動実績1	活動指標	地域防災力強化事業費補 助金の活用状況	江新中华	ш	E41 000	000 000	活動見込	活動見込		1411	入金	1,000	1,000	災害対策基金
(アウトプット)		ショボヘルロルバル	活動実績	円	541,000	809,000			-		収入			
			当初見込	円	1,000,000	1,000,000	0 R05年度	DOC年中			越金 七 佳			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度 活動見込	R06年度 活動見込			方債 ************************************			
活動実績2	活動指標	研修会等の開催	7 E D A				冶	活 期 見込	_		般財源	1 000	4 000	
(アウトプット)			活動実績		17	28			予算内訳		計		1,000	20.4 E E O > 4 E Y
		Administration	当初見込	<u> </u>	25	25	25		(単位:千円)	-	歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度			(貝:	旦金、補助及び交付金	1,000	1,000	地域防災力強化事業費補助金
34 44 4/ + P			単位当たりコスト	円	135,250.0	115,571.4				<u> </u>				
単位当たり	補助金執行	·額(単位:円)/活用した自主	771.				ر ا			<u>-</u>				
コスト	防災組織数	双(単位:組織)	計算式	X/Y	541,000/4	809000/7				<u> </u>				
			口弁八	A/ I	341,000/4	809000/ /								
							中間目標	目標最終年度	-	 				
		地区防災計画(初動マニュア		単位	R03年度	R04年度	R05 年度	R07 年度	•	I ⊢				
	成果目標	ル等)を策定した行政区数を 令和7年度に62区		区	•	10	1100 12	1107 12						
		7117年及1002四	成果実績		8	12								
成果目標及び		地区防災計画(初動マニュア	目標値	区	62	62		62						
成果実績1	成果指標	ル等)を策定した行政区数	達成度	%	13	19								
(アウトカム)								<u> </u>	_		計	1.000	1.000	
	補足説明									正職員		0.5	0.6	
	#8 #bp L I	フ田いた -							-	再任月		0.5	0.6	
		て用いた タ名(出典)							投入工数		, F度月額	0		
	-iyen i /	1					中間目標	目標最終年度	(単位:人)		F度日額	0		
		個別避難計画を策定した行		単位	R03年度	R04年度	R05 年度	R07 年度		計	F X H I I I I I I I I I I I I I I I I I I	0.50	0.60	
	成果目標	政区数を令和7年度に62区				_	1.00 1-150	T/X						
			成果実績	区	2	3			人*	黄合語	├(千円)	3,700	4,440	
成果目標及び		個別避難計画を策定した行	目標値	区	62	62		62	*	費用(千円)	4,241	5,249	
成果実績2	成果指標	個別避難計画を東定した行 政区数	達成度	%	3	5			人件	等の解	延(千円)	·		
(アウトカム)			足以及	/0	Ů	Ů				m\\v	以 本	45	5.0.1	
	補足説明								総費用(千	H)※/	件費等修正後	4,241	5,249	/
	ATT the	7.Th. +							-					
		て用いた タ名(出典)												
	_{初には} T・ナー	プロ(山州)												

シートNo. 0415103	事務事業名	自主防災組織育成事	業		部·課·係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No . J004123	開始年度	平成24年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		2/2ページ

			令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善					
	項目	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明				
ş	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	自主防災組織が必要とする資機材等に補助金を交付している。しかし、災害時に被災する確率の高い避難行動 要支援者対策の支援ができていない。	0	自主防災組織が必要とする資機材等に補助金を交付している。しかし、災害時に被災する確率の高い選 難行動要支援者対策の支援ができていない。				
戦の込	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	自主防災組織の活動状況も把握する必要があり、地域のみではノウハウや推進する人材がいないため地域のみでは取組みが進まない。	0	自主防災組織の活動状況も把握する必要があり、地域のみではノウハウや推進する人材がいないため地域のみでは取組みが進まない。				
要生	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	近年、全国各地での大規模な災害が発生している状況や平成30年以降頻発している水害の被害状況から、 優先度の高い事業である。	0	近年、全国各地での大規模な災害が発生している状況や平成30年以降頻発している水害の被害状況から、優先度の高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-					
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。								
	競争性のない随意契約となったものはないか。 受益者との負担関係は妥当であるか。								
*	文益省との負担関係は安当しのなか。	-		-					
来の:	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-					
劝率性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	自主防災活動に必要な物に対して補助金を交付しているため。	0	自主防災活動に必要な物に対して補助金を交付しているため。				
_	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	Δ	自主防災組織の予算や執行状況で変動し、コロナの影響で研修会や訓練等の制限があったため。	Δ	自主防災組織の予算や執行状況で変動し、コロナの影響で研修会や訓練等の制限があったため。				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	従来の補助率から引き下げを行い、活動状況によっては補助率をかさ上げする等、補助金の見直しを実施した。 令和5年度以降は補助金を廃止。	0	従来の補助率から引き下げを行い、活動状況によっては補助率をかさ上げする等、補助金の見直しを実施した。				
*	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	Δ	防災訓練などを通して、地域防災力が向上しているが、組織によって活動に温度差がある。	Δ	防災訓練などを通して、地域防災力が向上しているが、組織によって活動に温度差がある。				
業の	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-					
有効	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	Δ	防災組織活動が自主的実践されている行政区は、補助金を活用しているが、それ以外の自主防災組織の活動 が不明なため。	Δ	防災組織活動が自主的実践されている行政区は、補助金を活用しているが、それ以外の自主防災組織 の活動が不明なため。				
王	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	補助金で整備した資機材等を防災訓練で活用しているため。	0	補助金で整備した資機材等を防災訓練で活用しているため。				
u	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)		県による防災士育成事業		県による防災士育成事業				
連事業	課名 連番 事業名	Δ		Δ					
	事来右 点 検 点検結果 ・	い自主	 を活用する自主防災組織に偏りがあるため、市全体の防災力向上を図るためには、活用できていな 防災組織に対して、災害時の防災活動や資機材整備の重要性等の説明が必要。また、市の体制の 担が不十分であるため、実効ある活動につながっていない。	ていない	I 上 を活用する自主防災組織に偏りがあるため、市全体の防災力向上を図るためには、活用でき い自主防災組織に対して、災害時の防災活動や資機材整備の重要性等の説明が必要。ま の体制の役割分担が不十分であるため、実効ある活動につながっていない。				
	善 善 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	自主防	年度をもって地域防災力強化事業費補助金を廃止。 災組織の活動状況を把握し、活動できていない自主防災組織に対し、自主防災組織の必要性につ 明し、初動マニュアル作成支援等を実施し活動できる組織づくりを推進していく。		5災組織の活動状況を把握し、活動できていない自主防災組織に対し、自主防災組織の必要 いて説明し、初動マニュアル作成支援等を実施し活動できる組織づくりを推進していく。				

	0415104	事務事業名	地域強靭化計画関連	i 業務		部·課·係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No.	R020008	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和7年度	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

		然災害が発生しようとも、「			った安全・安	と心な地域	·市民生活·経济	脊社会の構築				R03年度	R04年度	
	に向けた地	域の強靭化を推進するため	計画を策定	する。				l			当初予算			
事業の目的								l						
								l			補正予算			
								l	予算額・	予算	前年度から繰越			
	広範囲にも	基大な被害が生じる大規模を	な自然災害	を対象に、ノ	卜郡市強靭	化の基本目	標を達成するた	め、事前に備	執行額	状況	翌年度へ繰越			
		標と起きてはならない最悪の							(単位:千円)		予備費等			
	る。「起きて	はならない最悪の事態」を回	回避するため	、強靱化施	策について、	その推進力	針をリスクシナリ	オごとに整理し						
事業概要	た。							l			計	0	0	
T 不 1 % 又	1							l			執行額			
								l			執行率(%)			
								ŀ			歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	74/1 た かも	ッカ国兄上ばの中田を図る:	Ŀ₩Φľ⊞≪.	述《华广 姿	オス国土光	対ルサナ	+				10000 - 7 71	100千皮	104千皮	104年度の主な収入内部(石が寺)
根拠法令、	近人しなが	かな国民生活の実現を図るが	こめいが炎・		りる国工班	料化基本)	A	l			車支出金			
依拠広下、 関係計画、	1							l		県	支出金			
選妹計画、 通知等								l		使月	用料•手数料			
週77								l			担金・負担金等			
							R05年度	R06年度			医亚 黄疸亚节 産収入			
74 D47 - 1				単位	R03年度	R04年度								
活動目標及び							活動見込	活動見込		-	入金			
活動実績1	活動指標	計画の策定に向けた取り組み	活動実績	件	8	4				諸山	収入			
(アウトプット)			当初見込	件	8	4				紀二	 			
			コ加元込	IΤ	0			<u> </u>		小朱川	© 717			
				₩ / +	D00年序	D04/##	R05年度	R06年度		地	<u></u> 方債			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込		— f	般財源			
活動実績2	活動指標		活動実績						予算内訳		計	0	0	
(アウトプット)									(単位:千円)	-				
			当初見込					l l	\ \ \ \ 1 1/		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度		$\overline{}$						
			単位当たり				1							
単位当たり			コスト	千円	647.5	1,295.0								
コスト		するための会議1回あたりの人						/						
	件費		計算式	X/Y	5.180/8	5180/4		l						
			前昇八	A/ I	J,10U/ 6	3100/4		l		l				
		1						口無目他左右		<u> </u>				
	H	-1 T o # +		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		<u> </u>				
	成果目標	計画の策定	/				年度	年度						
			成果実績	策定状況	策定									
成果目標及び	成里指煙	策定状況	目標値	策定状況	策定									
成果実績1	マンベ コロコボ	* N. IVIII	達成度	%										
(アウトカム)	建豆甾皿	R3.4月に策定済み									計	0	0	
	T用止試明	NO.サ月に果止済の						l		正職員	1	0.7	0.7	
	+FI +hn 1 - 1	7.PL).t								再任月	1	0		
		て用いた タ名(出典)						l	47. 2 T #4.			0		
	4元百1・テー	プロ (山 兴)							(単位:人)	去訂年	F度月額	0		
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計年	E度日額	0		
	成果目標			平14	KU3平度	RU4平度	年度	年度		計		0.70	0.70	
			成果実績						人件	費合計	l(千円)	5.180	5.180	
*****			目標値					 		費用(5,180	5,180	
成果目標及び	成果指標		達成度	%				 			正(千円)	3,700	5,.00	
成果実績2			~	,,			ļ	<u> </u>			· 件費等修正後	5.180	5.180	
(アウトカム)	補足説明							ŀ		1125	八八只寸砂止以	5,180	ა, 180	
														
	根拠とし	て用いた						1						
	統計・デー	タ名(出典)												

シートNo. 0415104	事務事業名	地域強靭化計画関連	直業務	部·課·係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No . R020008	開始年度	令和2年度	終 了予定年度 令和7年度	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善				
項 日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明			
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	内閣の補助機関である内閣官房が、法律に基づき推進している事業のため	0	内閣の補助機関である内閣官房が、法律に基づき推進している事業のため			
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	法定計画であるため、市の努力義務となる。	0	法定計画であるため、市の努力義務となる。			
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	災害に対する事業は、頻発・激甚化しているため、早急に防災の体制が求められ、国の防災・減災、国土強 靱化のための5か年加速化対策に合わせて取り組みを進める必要がある。	0	災害に対する事業は、頻発・激甚化しているため、早急に防災の体制が求められ、国の防災・減災、国土3 靱化のための5か年加速化対策に合わせて取り組みを進める必要がある。			
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-				
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。							
競争性のない随意契約となったものはないか。 受益者との負担関係は妥当であるか。			_				
は 単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		_				
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され	-		-				
ているか。	-		-				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	-		-				
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	本市の状況に応じて、策定の内容を検討しているため	0	本市の状況に応じて、策定の内容を検討しているため			
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-				
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	本市の状況に応じて、策定の内容を検討しているため	0	本市の状況に応じて、策定の内容を検討しているため			
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-				
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)							
課名							
事業名	1						
点 検 点検結果 - 改	画の策	令和4年度以降、地域計画の策定状況や交付金・補助金制度の趣旨等を踏まえつつ、地域計 定定を交付要件とする「要件化」を導入している。本市はR3.4月策定しているため、事業の推進や計 直しを行っている。	画の策	- 令和4年度以降、地域計画の策定状況や交付金・補助金制度の趣旨等を踏まえつつ、地域 度定を交付要件とする「要件化」を導入している。本市はR3.4月策定しているため、事業の推進や 直しを行っている。			
善 結 果 改善の方向性		交付金・補助金で重点等を図っているため、5か年加速度対策に合わせて、国の制度等を可能な 用できるよう地域強靭化計画を見直していく。		交付金・補助金で重点等を図っているため、5か年加速度対策に合わせて、国の制度等を可能 用できるよう地域強靭化計画を見直していく。			

シートNo. 0415105		防災システム等運営事業	部•課•係	経営政策部	防災安全課	防災係	
事業No . R020007	開始年度	不明 終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1013	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

巛宝 ^ のは	えとして、災害情報等の伝	き 手 配 の タ	雄化 虐却	出右た図で	th ntw	に関連さるシフェ	こした右がに洋				R03年度	R04年度	
		生丁权の多	7水1し、1月半	x大円で凶る	ハこの、内火	に因ほりのン人	ひと行列に占			少 切 孓 笛			!
,, 0	10001111000										5,769	5,723	1
										1117 - 7 71			-
70 + 19 (1)	フ. フ.キャル / ** キャ / D. / D	/ /= TL /m //h	// ch to to	ケエルートコ	- , n±///		\ n±///						1
									扒沉				1
								(単位:十门)			U	2	
												,	+ /
													↓ /
											R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
災害対策	基本法、地域防災計画												
									分	坦金•負担金等			
			単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度						
活動指煙	災害情報等配信システムの			1100千戌		活動見込	活動見込		17177	·-			
10 20 10 lb	情報発信回数			100	68								
		当初見込	D	100	110								
			単位	R03年度	R04年度								_
活動指標)				活動見込	活動見込					,	
								予算内訳			, ,		
	Φ΄ () (+Ω +hn	当初見込	34 / 1	D00/F#	D0.4/F/#			(単位:千円)	毒				R04年度の主な使途
	异山依拠	## /# W + N	単位	R03年度	R04年度	4							光熱水費 MCA中継局利用料
n+ ((()= ±0 fm	可信2.351佐公弗田/兴		円	7,458.0	12,585.3								MCA中継局利用料防災行政無線保守点検業務委
						1 /					5		施設使用料
		計算式	X/Y		855800/68						169		ネットワーク保守点検負担金・電波利用料
				U									
	災害情報等配信システム登		出什	D02年度	D0.4年度	中間目標	目標最終年度						
成果目標			丰位	100千皮	104千皮	- 年度	R07 年度						
	1,000人		人			_	-						
	災害情報等配信システム登	目標値	人	700	700	-	1,000		<u> </u> _				
以 果指標	録者数(H30~累計)	達成度	%	124	123	-	-						
					I	I	I .			=+	5 772	5 725	
補足説明	3,000件の登録が可能								正職員		0.15		
根拠とし	て用いた。このようなである。		AT III IT					45. 7 #4			0		† /
		ミシステムの登	録状况					(384 AL I)	会計年	度月額	0		1
			出什	D02年度	D0.4年度	中間目標	目標最終年度	(年世:人)	会計年	- 度日額	0		1
成果目標			中四	NUS平度	1704年度	年度	年度		計		0.15	0.30	
		成果実績	-								1,110		_
成果指標											6,661	7,863	1
		達成度	%		l	L					0.55	7.000	
	1							糀貫用(十	コリ※ 人	、件費等修正後	6.661	7.863	.1 /
補足説明									** ****	111 7 7 17 - 12	0,001	.,	
	て用いた								******	111241112	3,001	.,	
=	現りた、 災害 活動 動 指標 (リ、福岡県防災・行政情報通信ネットで た、新たなシステムの導入やシステム同 災害対策基本法、地域防災計画 送害情報等配信システムの情報発信回数 活動指標 第出根拠 防災情報等配信システム等総費用(単位:円)/災害情報等配信システム情報発信回数(単位:回) 成果目標 録者数を令和7年度までに1,000人 成果指標 録者数(H30~累計) 減害情報等配信システム登録者数(H30~累計) 様理として用いた統計・データ名(出典) 災害情報等配信	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線リ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらた、新たなシステムの導入やシステム同士の連携をでいません。 新たなシステムの導入やシステム同士の連携をでいます。 第一個 大学	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報り、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらに効果的にた、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害災害対策基本法、地域防災計画 活動指標	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信シスケムの場合では、新たなシステムの場合である。 第一次 (現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災: り、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらに効果的に活用するため、システム た、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達で 災害対策基本法、地域防災計画 活動指標	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもるくか、リ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらに効果的に活用するため、システムの登録等の指 た、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制な 災害情報等配信システムの	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもるんが、ヤフー防災アプリ、福岡県防災・行政情報通信ネットワークをさらに効果的に活用するため、システムの登録等の推進を図る。また、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制を構築していく。 「活動実績」 回 100 68 活動見込 活動見込 回 100 110 110 110 110 110 110 110 110 1	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信ンステム、防災メールまもるくん、ヤフー防災アプリ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらに効果的に活用するため、システムへの登録等の推進を図る。また、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制を構築していく。 「本動指標 災害情報等配信システムの 活動見込 活動見込 活動見込 活動見込 活動見込 活動見込 活動見込 活動見込	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもるぐん、ヤフー防災アプリ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をそうに効果的に活用するため、システムへの登録等の推進を図る。また、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制を構発していく。 東位・千円) 東位・一月 東位・一月 東位・一月 東山横楽 (東の8年度	現在運用している情報伝達手段(所災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもさんが、ヤフー防災アブリ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーリをそらに効果的に活用するため、システムへの登録等の推進を図る。また、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制を構築してい、 ・	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもる(か、ヤフー防災アプリ、福岡県防災・行政情報通信ネットワーク)をさらに効果的に活用するため、システムへの登録等の推進を図る。また、新たなシステムの導入やシステム同士の連携を行い、災害情報等を迅速に伝達できるような体制を構築している。 東京 大・ 東京 東京 大・ 東京	現在運用している情報伝達手段(防災行政無線、災害情報等配信システム、防災メールまもるくん、ヤフー防災アチ ・

シートNo. 0415105		防災システム等運営事業	部·課·係 経営政策部		
事業No . R020007	開始年度	不明 終了予定年度 終了予定なし	施策コード P1013	作成責任者 │防災安全課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善					
Д Б	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明					
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 事	Δ	高齢者等のスマートフォンやインターネットの使用が苦手の方への対応が不十分。	Δ	高齢者等のスマートフォンやインターネットの使用が苦手の方への対応が不十分。					
業 か め 必	×	民間企業が開発しているシステムを運用しているが、情報の発信は行政が行うもの。	×	民間企業が開発しているシステムを運用しているが、情報の発信は行政が行うもの。					
要性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	0	災害時において情報は、命を守るために必要な情報なため重要な事業。	0	災害時において情報は、命を守るために必要な情報なため重要な事業。					
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	市の要望条件を満たすシステムがないため。	0	市の要望条件を満たすシステムがないため。					
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		有						
競争性のない随意契約となったものはないか。	有		有	1					
受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-						
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		_						
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ないるか。	0	防災情報だけではなく、市民全体に係る等の条件であれば発信できるように運用している。	0	防災情報だけではなく、市民全体に係る等の条件であれば発信できるように運用している。					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		_						
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		-						
* 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-						
『 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 』	-		-						
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	防災情報だけではなく、市民全体に係る等の条件であれば発信できるように運用している。	0	防災情報だけではなく、市民全体に係る等の条件であれば発信できるように運用している。					
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)									
課名	-		-						
連番	4								
事業名	《中山		《《中市						
点 検 点検結果 ・ 改	活用す ネットを	手の情報は、あらゆる方法と手段で情報収集し、可能な限り市民に伝達するため既存のシステムをることが有効なため、登録者を増やすことで更に充実したものとなる。また、スマートフォンやインター・ で使用することが苦手な高齢者等が情報収集ができない実情があるため、さらに確実な伝達手段をるためには、多額の費用を要する。	活用す ネットを	寺の情報は、あらゆる方法と手段で情報収集し、可能な限り市民に伝達するため既存のシステム:「古る古教のため、登録者を増やすことで更に充実したものとなる。また、スマートフォンやインター E使用することが苦手な高齢者等が情報収集ができない実情があるため、さらに確実な伝達手段「るためには、多額の費用を要する。					
善 結 果 改善の方向性		f用している防災関係のシステムの改修や新たな機能と連携を図る等、小郡市内全住民が情報を きるように随時システムの見直し等を実施する。		E用している防災関係のシステムの改修や新たな機能と連携を図る等、小郡市内全住民が情報 きるように随時システムの見直し等を実施する。					

シートNo.	0415201	事務事業名	空き家対策業務		部•課•係	経営政策部	防災安全課	消防•安全係	
事業No.	R020011	開始年度	平成26年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P102A	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

	nt ve et :	/a=1.5 = 1.5.4.5.4.5.4.5.4.5.4.5.4.5.4.5.4.5.4.5.	- + M+ '-		·		L							
	防犯、防災	{の面から、空き家等の適₃	Eな管理を促	とし、地域住	氏の安全領	といに寄与す	「ること。					R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算			
サネッロリ											補正予算			
									予算額・	予算	前年度から繰越			
		E管理がなされるよう、関係					ともに、空家等	対策の推進に	執行額	状況	翌年度へ繰越			
	関する特別	」措置法に基づき、特定空	家等に対する	る勧告や代	執行等の措	置を行う。			(単位:千円)		予備費等			
 .———										-	計	0	0	
事業概要											執行額	-		
										4	執行率(%)			
										1	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	灾灾 笙劫:	策の推進に関する特別措置	- 注							団庫	- 成八 ア <u>昇</u> - 支出金	NUS干皮	N04千段	104年度の主な収入内部(石が寺)
根拠法令、	工多可列.	水の圧延に減りる特別相信	1/A											
関係計画、											出金			
通知等											料・手数料			
		T									金•負担金等	ļ		
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			収入			
活動実績1	活動指標	空き家に関する相談対応件					活動見込	活動見込		繰入				
(アウトプット)			活動実績	件	10	8				諸収	•• •			
			当初見込	件	25	30	30			繰越				
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		地方				
活動実績2	活動指標		VT 51 57 65				活動見込	活動見込		一般	財源			
(アウトプット)			活動実績						予算内訳		計		0	D04/5/5/02-5-15/5/
		Antri I I da da	当初見込	11 IT	D00/F#	D04/F/#			(単位:千円)	l -	歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠	W// W+ 10	単位	R03年度	R04年度				-				
単位当たり			単位当たりコスト	円	148,000.0	138,750.0								
	終費用/空	き家に関する相談対応件数	7711				_							
7/1	1003-67117	- MICKIN O 11 DX	計算式	X/Y	1,480,000/	1,110,000/								
			m1 51 = 4		10	8								
				134 / L	D00 F F	D0.4 # #	中間目標	目標最終年度		-				
	成果目標	空き家相談件数に対する改 善率の向上		単位	R03年度	R04年度	年度	年度						
		音平の同工	成果実績	%	20	17								
成果目標及び	成里指煙	空き家の管理状況改善率	目標値	%	100	100								
成果実績1	WA101W	上であめ自在状況以日午	達成度	%	20	17								
(アウトカム)	補足説明	市の適正管理依頼により、空				1 W a B 51					計		0	
		=H23年~空家の管理状況								正職員		0.2	0.15	
		て用いた 空き家等対策に タ名(出典) 国土交通省住				る空き家等を	対策に関する取組	状況の調査/	投入工数	再任用	在 D 好	0		
	初高す・ナー	メイ(山央) 国工文通省社 - 	七向住七総合	1 坐 佣 袜 土 攻	R児登(開至)		中間目標	目標最終年度	/ MA AL . I \	会計年		0		
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中间日標 年度	日信取於平度年度		云訂年	茂口贺	0.20	0.15	
	从木口际		成果実績				十段	十段	1 1/4	ā⊺ -費合計	(千円)	1.480	1,110	
成果目標及び			目標値							費用(千		1,480	1,110	
成果実績2	成果指標		達成度	%							正(千円)	1,430	1,110	
(アウトカム)	1+ C =¥ =5				1	1	<u>I</u>	1			件費等修正後	1.480	1,110	
	補足説明											.,.50	.,.10	*
	根拠とし	て用いた												

		0415201		空き家対策業務			部·課·係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業	No.	R020011	開始年度	平成26年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P102A	作成責任者 防災	災安全課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善				
坝 日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明			
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 事	0	空き家に関する相談は継続的にあり、その対応に関して地域のニーズは高まっている。	0	空き家に関する相談件数は増加傾向にあり、その対応に関して地域のニーズは高まっている。			
票 の 必 必	Δ	空き家の状況調査等の一部業務は委託可能であるが、所有者の特定に係る業務は、個人情報保護の観点から委託ができない。	Δ	空き家の状況調査等の一部業務は委託可能であるが、所有者の特定に係る業務は、個人情報保護の観点から委託ができない。			
要 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 性 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	相談件数は一定数あり、今後も必要な事業である。	0	相談件数が増加傾向にあり、今後も必要な事業である。			
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無				
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無				
受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-				
業の の 物	-		-				
本 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され 性 ているか。	-		-				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-				
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	-		-				
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		=				
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-				
有 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 効	-		=				
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-				
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 都市計画課 連番 J004440 事業名 空き家利活用促進事業	0	空き家が抱える問題の特性に応じて役割分担している。 ・防災安全課: 空き家の老朽危険家屋に対する適正管理依頼・指導 ・都市計画課: 空き家の利活用(空家バンク)、ブロック場補修費用の補助 ・生活環境課: 空き家の雑草等に対する適正管理指導	0	空き家が抱える問題の特性に応じて役割分担している。 ・防災安全課:空き家の老朽危険家屋に対する適正管理依頼・指導 ・都市計画課:空き家の利活用(空家バンク)、ブロック塀補修費用の補助 ・生活環境課:空き家の雑草等に対する適正管理指導			
点 検 点検結果 ・ 改	・老朽 対応に	家に関する相談は、内容が多様化・複雑化しており、ニーズに対して十分に反映できていない。 家屋の対応に関しては、適正管理を依頼する文書をお出ししているが、反応がないところが多く、 苦慮している。	できて(・老朽 対応に	家に関する相談は、内容が多様化・複雑化、件数が増加傾向にあり、ニーズに対して十分に反映いない。 家屋の対応に関しては、適正管理を依頼する文書をお出ししているが、反応がないところも多く、 - 苦慮している。			
善結 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・今後も各関係課が連携して取り組んでいく。 ・特定空家の認定などの制度設計の検討を行う。			も各関係課が連携して取り組んでいく。 空家の認定などの制度設計の検討を行う。			

シートNo.	0415202	事務事業名	交通安全対策事業			部•課•係	経営政策部	防災安全課		消防•安全係	
事業No.	J000130	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1021	作成責任者	防災安全課長		1/2ページ

	大塚中ム	の並み 大塚学徒の言担で	ながた 済 四位	の動性が	主体の1214	について せ	日本動を改力	に#**********				DOO左左	D0.4左连	
		の普及、交通道徳の高揚及 通事故を絶滅し、もって市民				EIC JUIC , T	1氏運動を強力	に推進すること			ルカマケ	R03年度	R04年度	
事業の目的					00						当初予算	774	474	
											補正予算			
									予算額・	予算	前年度から繰越			
		ノ、交通安全思想に関する。 の#***(京松澤転表・の書		でのビラ	配り)や、運	転者及び歩	・行者の教育、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高齢者の交通	執行額	状況	翌年度へ繰越			
	安全对束	の推進(高齢運転者への講	省)を行つ。						(単位:千円)		予備費等			
事業概要											計	774	474	
尹未恢安											執行額	769	469	
											執行率(%)	99%	99%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
										玉	庫支出金			
根拠法令、										県	支出金			
関係計画、										俥	用料•手数料			
通知等											担金・負担金等			
							R05年度	R06年度		1	产业 <u>货产业等</u> 産収入			
活動目標及び		春・秋の交通安全運動期間		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			<u>性权人</u> 入金			
活動実績1	活動指標	での啓発活動(ビラ配布等) 実施回数	活動実績	П	0	0	711 307 50.22	711 307 0 22			収入			
(アウトプット)		美	当初見込		2	2	2				越金			
							R05年度	R06年度			<u> </u>			
活動目標及び		セーフティステーション(イオン		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	774	474	
活動実績2	活動指標	小郡店での啓発活動)実施 回数	活動実績	0	0	3			予算内訳		計	774	474	
(アウトプット)		凹奴	当初見込	回	3	3	3		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
				単位	R03年度	R04年度				旅		5	5	
			単位当たり	В	0.0	627,000.0				負:	担金、補助及び交付金	769	469	交通事故をなくす小都市市民運動本部補助金、小郡三井地区交通安全協会補助金、福岡県交通追児を支える会補助金
単位当たり			コスト	п	0.0	027,000.0		/						
コスト	総費用/活	動実績			2,209,000/	1,881,000/								
			計算式	X/Y	0	3								
		1					中間目標	目標最終年度		_				
	成果目標	市内の交通事故発生件数		単位	R03年度	R04年度	中间日標 年度	日保取於平及		-				
	从木口标	を前年度より減少させる。	成果実績	件	150	145	千皮	千及		-				
成果目標及び			目標値	件	177	150				 				
成果実績1	成果指標	交通事故発生件数	達成度	%	85	96								
(アウトカム)	4+ C =¥ no	J. 20 + 1- + 1-1-2 a + 1-10 / a D	400\0+1	7 ± 11 00 11	14. 20.		I	I		-	計	774	474	
	補足説明	小郡市における1年間(1月	~12月)の父』	担 争 似	.件釵					正職員	Ą	0.1	0.1	
		アカンス 福岡県警察ホー	- 1 ペーミ版本=4						投入工数	再任月		0		
	統計・デー	9名(出典) 福岡県書祭小一	- ムハーン前間						(単位:人)		∓度月額	0.25	0.24	
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度	(平位:八/	会計名	丰度日額	0		
	成果目標				7.00 1/2		年度	年度		計	D2=\	0.35	0.34	
AB0:==:4			成果実績								+(千円)	1,440	1,412	
成果目標及び	成果指標		目標値	0/						費用(2,209	1,881	
			達成度	%							正(千円)			
成果実績2 (アウトカル)											<i>- 作野型爬</i> 工型			
	補足説明								総賀用(十	4) % /	人件 費等修 正後	2,209	1,881	/
		ア田ハた							総質用(十	<u> </u>	· 件實等修正後	2,209	1,881	
	根拠とし	で用いた タ名(出典)								<u>4) % /</u>	<u>、件實等修正後</u>	2,209	1,881	

シートNo.	0415202	事務事業名	交通安全対策事業			部・課・係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業No.	J000130	開始年度	不明	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1021	作成責任者	防災安全課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善	L	<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	評価		評価	
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	Δ	高齢者の自動車運転免許自主返納に対する助成制度等の要望がある。	Δ	高齢者の自動車運転免許自主返納に対する助成制度等の要望がある。
地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	×	市が、交通事故をなくす小郡市市民運動本部事務局を担っているため不可能である。	×	市が、交通事故をなくす小郡市市民運動本部事務局を担っているため不可能である。
女策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 女策体系の中で優先度の高い事業か。	0	近年、高齢運転者による事故は社会的問題となっており、その対策は必要な事業である。	0	近年、高齢運転者による事故は社会的問題となっており、その対策は必要な事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	_		_	
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
受益者との負担関係は妥当であるか。	-		-	
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-	
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	啓発活動等に必要な物品に限定されている。	0	啓発活動等に必要な物品に限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	=		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	効果的な方法等を関係機関と協議しながら、事業を進めている。	0	効果的な方法等を関係機関と協議しながら、事業を進めている。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	Δ	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部事業が中止となった。	Δ	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部事業が中止となった。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		-	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-	
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
課名	-		-	
事業名				
点 検 点検結果・	齢運軸	ロナウイルス感染症拡大の影響により、駅前でのビラ配りが例年通りの回数実施できていない。高 医者の自動車事故は社会的問題であり、市民の注目度とその対策事業のニーズは高いため、そのに対してどのように応じていくのかが今後の課題である。	実施で	
善 結 果 改善の方向性		。、交通事故をなくす福岡県県民運動本部、小郡警察署、小郡三井地区交通安全協会等との E図りながら、高齢者の交通事故防止のための取組を重点的に進めていく。		、交通事故をなくす福岡県県民運動本部、小郡警察署、小郡三井地区交通安全協会 図りながら、高齢者の交通事故防止のための取組を重点的に進めていく。

シートNo.	0415203	事務事業名	消防施設管理事業			部∙課∙係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業No.	J000140	開始年度	昭和30年度	終了予定年度	終了予定なし	施策コード	P1014	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

	. 1. 20 vst s	上口の字光を次にたた。		<u> </u>	7-1				1			1		
	小郡市消	坊団の運営を適切に行いて	1氏の安全の	川口上を図る	らこと。							R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算	15,019	16,749	
7×0011											補正予算		765	
									予算額·	予算				
	小郡市消	坊団運営業務のうち、経常	的に係る消耗	耗品購入な	⋼車両等の智	管理業務など	ごを行う。		執行額	状況	翌年度へ繰越			
									(単位:千円)		予備費等		49	
के % भा क											計	15,019	17,563	
事業概要											執行額	12,513	15,236	
											執行率(%)	83%	87%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	消防組織法	去、消防団を中核とした地	域防災力充	実強化に関	員する法律				1	国	庫支出金			
根拠法令、										県	支出金			
関係計画、										使	用料•手数料	136	203	行政財産目的外使用料
通知等											担金·負担金等			1797/12 1371 1371
							R05年度	R06年度	1		産収入			
活動目標及び		消防団(円/人)に対する消		単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込		****	入金		583	消防団設備整備費補助金、災害対策基金
活動実績1	活動指標	耗品等の支給額	活動実績	円	4,799	4,656	1113350.	1,1,1,1,1,1	†		収入			1177日以間上開天間の並(入口の大量
(アウトプット)			当初見込	円	-	-	-				越金			
				134 /T	D00 # #	D0.45	R05年度	R06年度			<u></u> 方債			
活動目標及び	AL 81 TH THE			単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源	14,883	16,777	
活動実績2 (アウトプット)	活動指標		活動実績						予算内訳		計	15,019	17,563	
(アントンット)			当初見込						(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度			1		用費	4,796	5,669	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費
			単位当たり	円	4.799.3	4,656.7					務費	0	0	
単位当たり			コスト		1,700.0	1,000.7					託料	159		サイレン保守点検、ホース乾燥台点検
コスト	消耗品等総	支給額/消防団員数	= 1 AA15		1,127,827/	1,122,275/	/			10-4	用料及び賃借料	707		NHK受信料、サイレン専用線使用料
			計算式	X/Y	235	241				1-1-5	品購入費 担金、補助及び交付金	515		消防ホース、ゴムボート 消火栓設置費等負担金
							中間目標	目標最終年度	1	貝:	担金、補助及び交刊金	8,842	9,939	月 久任改直負寺貝担並
	成果目標	消防団の消耗品等を充足さ		単位	R03年度	R04年度	年度	年度						
	MAKE IN	せる	成果実績	%	100	100	1/2	1.2						
成果目標及び	-A III 44- III	消防団からの消耗品等の支	目標値	%	100	100								
成果実績1	成果指標	給要望に対する支給率	達成度	%	100	100								
(アウトカム)	浦見 110 円	支給/要望									計	15,019	17,563	
	附近武明	人们/女王								正職員	•	0.2	0.2	
		て用いた							投入工数	再任月		0		
	統計・データ	9名(出典)							(単位:人)		丰度月額 	0.2	0.2	
	成果目標	消防団員一人あたりの消耗		単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度		会計句	丰度日額	0 40	0.40	
	以未日標	品等の支給を充実させる	成果実績	円	4,799	4,656	年度	年度	1 10	計	十(千円)	0.40 2.040	0.40 2,040	
成果目標及び		沙吐田号 したもまで次れ	成果美額 目標値	円	4,799	4,656		-		┣貫百百 養用(14.553	17.276	
成果実績2	成果指標	消防団員一人に対する消耗 品等の支給額	達成度	%	99	97					·T⊓ノ ≸正(千円)	14,000	17,270	
(アウトカム)				,,	1 00	. ,	1				人件費等修正後	14.553	17,276	
	補足説明	消耗品等総支給額/消防[団員数						400,000,113 \ 1 1	, /!\/	411 No. 13 IN NO. 154	14,000	17,270	
	根拠とし	て用いた							†					
	統計・データ													

シートNo. 0415203 事務事業名 消防施設電	理事業	経営政策部 防災安全	課 消防∙安全係	
事業No. J000140 開始年度 昭和30年原	終了予定年度 終了予定なし 施策コー	F P1014 作成責任者	防災安全課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
項日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	財源が許す範囲で、要望を充足するよう努めている。	0	財源が許す範囲で、要望を充足するよう努めている。
、 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 な	×	予算を執行する消防団事務局でなければできない。	×	予算を執行する消防団事務局でなければできない。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	消防団活動を継続する上で消耗品等の供給は必要不可欠である。	0	消防団活動を継続する上で消耗品等の供給は必要不可欠である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	Δ	一部、一者随契で購入している消防品等がある。	Δ	一部、一者随契で購入している消防品等がある。
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	有		有	
受益者との負担関係は妥当であるか。	0	消耗品費等は市が負担するものである。	0	消耗品費等は市が負担するものである。
単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-		-	
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され ているか。	0	購入する物品については精査を行っている。	0	購入する物品については精査を行っている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		0	コロナ対策による事業の中止等により、備品等が一部必要なくなったため
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	Δ	競争入札等により、コスト削減の可能性がある。	Δ	競争入札等により、コスト削減の可能性がある。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-		-	
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	Δ	競争入札等により、コスト削減の可能性がある。	Δ	競争入札等により、コスト削減の可能性がある。
成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-		-	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	災害現場や訓練等で使用されている。	0	災害現場や訓練等で使用されている。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名				
車番				
事業名		 服やその他経常的な必要備品の在庫管理が不十分であり、計画的な購入となっていない。 車やポンブ車についても、更新時期を示す計画等がない。	伴い消 ・活動	 コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施している訓練や行事等が中止となり、それ 耗品等の購入が例年を比較し少なかった。 服の在庫管理が不十分であり、計画的な購入となっていない。 庫やポンブ車についても、更新時期を示す計画等がない。
改 善 結 果 改善の方向性	準中型	団の活動服の更新に関して、消防団を調整を行いながら計画的に進めていく。また、消防団員の !運転免許取得費用の助成について検討する。 車やポンプ車の更新時期を示す計画等の策定を検討する。	準中型	団の活動服の更新に関して、消防団を調整を行いながら計画的に進めていく。また、消防団員 2週転免許取得費用の助成について検討する。 庫やポンプ車の更新時期を示す計画等の策定を検討する。

シートNo.	0415204	事務事業名	消防団管理運営事業	É		部·課·係	経営政策部	防災安全課		消防·安全係	
事業No.	J000139	開始年度	昭和30年度	終了予定年度 終	了予定なし	施策コード	P1014	作成責任者 🛭	災安全課長		1/2ページ

	消防団の	維持、機能向上を図り、市」	民の安全安心	ンを維持す	る。							R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算	42,972	46,572	
争未の日的											補正予算	▲ 1,890		
									予算額・	予算	前年度から繰越			
	消防団運	営に関して、必要な費用を	負担し、またえ	肖防団事剤	8局として消	防団の適正	な運営(会議の	開催、訓練の	執行額	状況	翌年度へ繰越			
	実施、予算	草執行事務)を行う。							(単位:千円)		予備費等			
											計	41.082	46.572	
事業概要											執行額	35.726	43.027	
											執行率(%)	87%	92%	
											歳入予算	R03年度		D04年度の主わ収入中部(名称等)
	小刑士当	防団の設置等に関する条例	1 小那士治		単学に関す る	1 ± 8 8 1 1 1 × ±	17 主治性国品。	中島 バあ			 庫支出金	RU3年度	R04平度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
根拠法令、		め回の設置寺に関する米で 条等に関する条例、特別職						/疋貝、江尤、						
関係計画、	114 11K1	カサに因 / O木 //1、11 ///14吸	ツ州以戸 C 7F F	D ±1)07 ()07(グ 十 以 日 川 久 し .		K) 7 0 A [7]				支出金			
通知等											用料•手数料			
-										分	担金•負担金等			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			産収入			
活動実績1	活動指標	団員数		+12	1100千皮	1107千戌	活動見込	活動見込		1212	入金			
(アウトプット)	/L 30 10 l/k	国 英数	活動実績	人	235	241					収入	4,512	4,512	消防団員退職報奨金、福祉共済事務手数料
()))			当初見込	人	255	255					越金			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			方債			
活動実績2	活動指標			+ -	1.00 1 12		活動見込	活動見込			般財源	36,570	42,060	
(アウトプット)	/口到]日本		活動実績						予算内訳		計	41,082	46,572	
()))			当初見込						(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				報		17,830		団員報酬(年額、出動)
			単位当たり	千円	170.6	195.5					済費	6,451		退職報奨金掛金
単位当たり		- · · ·	コスト								賞費	4,805		表彰費、退職報償費、消防団活動報償費
コスト	総費用/団	員数	=1 665 _15		40,086	47,107				旅		8,547		団員費用弁償、旅費
			計算式	X/Y	/235	/241					<u>際費</u>	50		団長交際費 消耗品、食糧費、印刷製本費
		1					中間目標	目標最終年度			用費 務費	964		付札前、良種質、印刷器本質 マイカー共済保険料
	成果目標	消防団の定数に対する加入	//	単位	R03年度	R04年度	年度	年度		10-4	/57貝 担金、補助及び交付金	2.435		消防団運営補助金
	从木口标	率を100%	成果実績	%	92	95	4.6	+及		<u> </u>	三亚、州功及0 又 门 亚	2,433	3,720	
成果目標及び		消防団の定数に対する加入	目標値	%	100	100				 -				
成果実績1	成果指標	率	達成度	%	92	95				 				
(アウトカム)		·消防団員数÷255人(条例		,,,			ı	<u>l</u>		-	計	41.082	46.572	
	補足説明	・継続して実施していく事業な		終年度目標	[値は設定した	まい。				正職員		0.4	0.4	
	根拠とし	て用いた							47. 7 44.	再任月	i i	0		
		タ名(出典)							投入工数	会計的	F度月額	0.5	0.4	
				114 /L	D00左座	D04左连	中間目標	目標最終年度	(単位:人)	会計的	F度日額	0		
	成果目標	1500		単位	R03年度	R04年度	年度	年度		計		0.90	0.80	
			成果実績	人	666	852					†(千円)	4,360	4,080	
成果目標及び	成里指煙	訓練参加者数(延べ)	目標値	人	1,500	1,500				費用(40,086	47,107	
成果実績2	八木 11 保	叫怀沙川日奴(進八)	達成度	%	44	57					延(千円)			
(アウトカム)	補足説明	・訓練に参加することで団員の							総費用(千	ਸ) ※ ノ	、件費等修正後	40,086	47,107	
		・継続して実施していく事業な	ので、目標最	終年度目標	種は設定した	まい 。								
		て用いた												
	統計・デー	タ名(出典)												

シートNo.	0415204		消防団管理運営事業		部∙課∙係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業No.	J000139	開始年度	昭和30年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1014	作成責任者 防災安全課長		2/2ページ

	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	坝 日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映している か。	0	近年では豪雨災害が多発しており、消防団の必要性は高まっている。	0	近年では豪雨災害が多発しており、消防団の必要性は高まっている。
来の必ず	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	Δ	消防団の担う業務について、地域の自主防災組織に実施してもらうことの検討が必要	Δ	消防団の担う業務について、地域の自主防災組織に実施してもらうことの検討が必要
要性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	政策目標にある消防・防災体制の整備のために必要な事業である。	0	政策目標にある消防・防災体制の整備のために必要な事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	0	支出先が一般的に決まったものが多い	0	支出先が一般的に決まったものが多い
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	1
事	受益者との負担関係は妥当であるか。	0	市民全体に有益な事業である。	0	市民全体に有益な事業である。
来の効	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	0	団員一人あたりの経費としては、報酬、費用弁償、公務災害補償等の支出が必要であり、妥当な水準である。	0	団員一人あたりの経費としては、報酬、費用弁償、公務災害補償等の支出が必要であり、妥当な水準である。
率性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	Δ	食料費について、事業実施方法を検討する必要がある。	Δ	食料費について、事業実施方法を検討する必要がある。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		0	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止・縮小しているため。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	0	ポンプ操法大会補助金による事業については内容を一部見直した。	0	ポンプ操法大会補助金による事業については内容を一部見直した。
事	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	消防団員数が消防団管理運営事業の充実度を定量的に示す指標である。	0	消防団員数が消防団管理運営事業の充実度を定量的に示す指標である。
業の	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-		-	
有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	消防団員数が消防団管理運営事業の充実度を定量的に示す指標である。	0	消防団員数が消防団管理運営事業の充実度を定量的に示す指標である。
1.3	・ 一	-		-	
関連事	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名	-		-	
業	事業名				
	点検に、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は		I 対は減少傾向にあり、団員の確保に苦慮している。 桑法大会、出初式、年末夜警など、一部事業の見直しをする必要がある。		」 ぬは減少傾向にあり、団員の確保に苦慮している。 操法大会、出初式、年末夜警など、一部事業の見直しをする必要がある。
	善 結 果 改善の方向性	理解し	§集について、区に対する説明会の実施や、一般に広報啓発を実施し、消防団について必要性を でもらえるようにしていく。 §業の実施方法の見直しを検討する。	理解し	専集について、区に対する説明会の実施や、一般に広報啓発を実施し、消防団について必要性を 、てもらえるようにしていく。 事業の実施方法の見直しを検討する。

シートNo. 041520		水防事業		部・課・係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業No . J00014	開始年度	平成24年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P101A	作成責任者 防災安全課長		1/2ページ

	水災を警戒	找し、防御し、及びこれに因 う	る被害を軽減	し、もってな	公共の安全	を保持するこ	٤-					R03年度	R04年度	
古典の口が											当初予算	1,541	5,811	
事業の目的											補正予算			1
									予算額・	予算	前年度から繰越			
	毎年、水防	方関係機関との連絡会議を	開催し連携の	D強化を図	る。また、水	防団員(消	防団員)及び市	職員による水	執行額	状況	翌年度へ繰越			1
	防訓練を乳	ミ施。水害時には、警戒活	動や家屋浸力	k•道路冠	水の対応、	市民への避	難情報の広報に	動を行う。	(単位:千円)		予備費等			
											計	1,541	5,811	-
事業概要											執行額	1,117	1,507	-
											執行率(%)	72%	26%	-
										-	歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	水防法										<u>- 麻ハァ弁</u> 庫支出金	RUS平皮	RU4十及	R04年度の主な収入内部(石林寺)
根拠法令、	小川山										<u> </u>			
関係計画、														
通知等											用料•手数料			
		I									担金·負担金等			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		財	産収入			
活動実績1	活動指標	水防団員(消防団員)の水 防訓練参加人数					活動見込	活動見込			入金	1		
(アウトプット)		防訓練参加入致	活動実績	<u>人</u>	162	150					収入			
			当初見込	人	178	179	191				越金			
舌動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			方債 ************************************	1.541	E 011	
活動実績2	活動指標		活動実績				活動見込	活動見込			般財源	1,541	5,811	
(アウトプット)			当初見込						予算内訳	-	計		5,811 R04年度	D04年度の主た体冷
		算出根拠	ヨ彻兄込	単位	R03年度	R04年度			(単位:千円)	報	歳出予算	R03年度		R04年度の主な使途 団員報酬(訓練、出動)
ŀ		异山依拠	W /+ W + D	- 単位	R03年度	R04年度				旅		1,232		世典報酬(訓練、出勤) 費用弁償
単位当たり			単位当たりコスト	円	19,487.7	21,030.9					_晃 用費	134		消耗品
	総費用÷参	加田昌数					/				^{而員} 務費	4		し尿汲み取り料
٦٨١	110 92/11 - 9	мыям	計算式	X/Y	3,157,000/	3,407,000/					<u> </u>	126		水防倉庫借地料
			#1 51 = V		162	162					材料費	45		水防資材
		水防団員(消防団員)の水		134 /.L	D00/F	D0.45F.FF	中間目標	目標最終年度						
	成果目標	防訓練参加率を75%にす		単位	R03年度	R04年度	年度	年度						
		る。	成果実績	%	69	63								
成果目標及び	成果指標	水防団員(消防団員)の水	目標値	%	75	75								
成果実績1	が大口が	防訓練参加率	達成度	%	93	84								
(アウトカム)	補足説明	・水防団員(消防団員)の水									計		5,811	
		・継続して実施していく事業な	ので、日標最終	《牛茂日標	他は設定しな	(L\ ₀				正職員		0.2	0.2	/
	根拠とし統計・デー	て用いた							投入工数	再任月		0	0.15	/
	小儿百」・ブー	ノロ (山州)					中間目標	目標最終年度	(単位:人)		F度月額 F度日額	0.2	0.15	-
	成果目標			単位	R03年度	R04年度	中间日標 年度	日標取於年度年度		크리"	F 反 口 役	0.40	0.35	-
	以木口惊		成果実績				平茂	+ 及	1.4	fi 上春春1	(千円)	2.040	1.900	/
成果目標及び			日標値							*費用(3,157	3,407	
成果実績2	成果指標		達成度	%					総質 人件費等			5,137	J, 1 U/	/
(アウトカム)	Lib marrier		X_1701,X	,,	1	1	l	I .			件費等修正後	3,157	3.407	
	補足説明	記明							THE PROPERTY OF 1	, ,,,,	*11 pt 11 pp pt	5,107	3, 107	
	根拠として用いた													
	根拠とし	(用いた												

シートNo. 0415205	事務事業名	水防事業		部·課·係	経営政策部	防災安全課	消防·安全係	
事業No . J000146	開始年度	平成24年度	終了予定年度 終了予定なし	施策コード	P101A	作成責任者 防災安全課長		2/2ページ

	項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
	坝目	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事	事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	近年豪雨災害が多発しており、水防のニーズは高まっている。	0	近年豪雨災害が多発しており、水防のニーズは高まっている。
栗の必つ	地域、民間等に委ねることができない事業なのか。	0	土のう作成は、個人、自主防災組織等で実施するものである。	0	土のう作成は、個人、自主防災組織等で実施するものである。
安性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	施策基本目標にある災害に対する応急体制の整備には必要な事業である。	0	施策基本目標にある災害に対する応急体制の整備には必要な事業である。
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	Δ		Δ	
	一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	1
業	受益者との負担関係は妥当であるか。	0	市民全体に有益な事業である。	0	市民全体に有益な事業である。
の効果	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	0		0	
性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	0	訓練経費、出動に対する費用弁償など、必要最低限の予算となっている。	0	訓練経費、出動に対する費用弁償など、必要最低限の予算となっている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		0	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業を中止・縮小しているため。
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	0	訓練経費、出動に対する費用弁償など、必要最低限の予算となっている。	0	訓練経費、出動に対する費用弁償など、必要最低限の予算となっている。
亭	活動実績は見込みに見合ったものであるか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと	0	水防団員の訓練への参加人数が水防事業の充実度を定量的に示す指標である。	0	水防団員の訓練への参加人数が水防事業の充実度を定量的に示す指標である。
栗の	リンキリストのが用めますいはがつってスロサスキス・スト	-		-	
有効	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	0	水防団員の訓練への参加人数が水防事業の充実度を定量的に示す指標である。	0	水防団員の訓練への参加人数が水防事業の充実度を定量的に示す指標である。
性	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-		-	
関油	関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載)				
事業	課名	-		-	
	事業名	=114+ 0		=u.4+ a	
	点 検 点検結果 ・ 改	がある。		がある。	
	善 結 果 改善の方向性	作成し	1容については、実態に沿って変更していく必要がある。 た土のうについては、市の備蓄や行政区への備えなど、あり方の検討・協議をしていく必要がある。 上のう自体についても備蓄活用をするために土のう袋を耐久性のあるものに見直していく。	作成し	内容については、実態に沿って変更していく必要がある。 た土のうについては、市の備蓄や行政区への備えなど、あり方の検討・協議をしていく必要がある。 土のう自体についても備蓄活用をするために土のう袋を耐久性のあるものに見直していく。

シートNo.	0415206	事務事業名	防犯·暴力追放対策	事業		部•課•係	経営政策部	防災安全課		消防•安全係	
事業No.	J000135	開始年度	平成21年度	終了予定年度 終了	了予定なし	施策コード	P1022	作成責任者	防災安全課長		1/2ページ

	I VD E			 	75 - 116 1. 3		r o likna							
	市内の犯事	『発生の抑止。また、市の4	公共工事その	他市の事	務・事業から	の暴力団等	が非除。					R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算	3,679	3,843	
子木の口は											補正予算			
									予算額·	予算				
		舌動推進団体の認定及び							執行額	状況	翌年度へ繰越			
		う。また、防犯カメラシステム							(単位:千円)		予備費等			
	り、小郡警	察署へ暴力団該当照会を	行い、市の名	2共工事、	その他事務	事業かり暴え	カ団等を排除す	ే 6 .			計	3.679	3,843	
事業概要											執行額	3.554	3.778	
											執行率(%)	97%	98%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	小型市安	全安心のまちづくり条例、小	型市 異 力 団	1 生排 险 冬	· 仮 II					国	<u> </u>	100千尺	1107平皮	107年度の工な状穴が部へ行か寺/
根拠法令、	ע נוויווהייני	主文心のようスク末が、1	.付いい参い15	1 TO 100 100 A	נילו						<u> </u>			
関係計画、														
通知等											用料・手数料			
		T									担金・負担金等			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			産収入			
活動実績1	活動指標	防犯パトロール車での防犯パ					活動見込	活動見込			入金			
(アウトプット)	711111111111111111111111111111111111111	トロール実施回数	活動実績	□	38	250					収入			
(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			当初見込	回	24	24	250				越金			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			方債			
活動実績2	活動指標	地域防犯活動推進団体の			1.00 1/2		活動見込	活動見込			般財源	3,679	3,843	
(アウトプット)	사다 코() 1다 (NK	登録数	活動実績	団体	11	11			予算内訳 (単位:千円)		計	3,679	3,843	
()))			当初見込	団体	15	14			(単位:千円)	l	歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度		/		旅		5		出張旅費
			単位当たり	円	124.052.6	19.864.0					用費	288		防犯カメラ電気料、防犯パトロール車修繕料、防犯カメラ修繕料
単位当たり			コスト			, i					用料及び賃借料	6		電柱共架料
コスト	総費用/防	ロパトロール実施回数	=1 m/r _15		4,714,000/	4,966,000/				負:	担金、補助及び交付金	3,380	3,504	小郡・大刀洗地区防犯協会分担金、福岡県暴力追放運動推進センター補助金
			計算式	X/Y	38	250				<u> </u>				
							中間目標	目標最終年度						
	成果目標	犯罪発生件数を200件/年ま		単位	R03年度	R04年度	年度	年度		 				
	7307C II 13K	で減少させる。	成果実績	件	171	197	1/2	1/2		 				
成果目標及び			目標値	件	200	200				 				
成果実績1	成果指標	市内の刑法犯認知件数	達成度	%	117	102								
(アウトカム)	4+ C =¥ nn	4 / T	++	+ milk+ vn =:	7 fro / 4 44L	ı			İ		計	3,679	3,843	
	補 足說明	1年間(1月~12月)に小郡	市内で発生し	/に 刑法犯訟	以出件叙					正職員	Ę	0.1	0.1	
		て用いた。福岡県警察ホー	/ ^° ≥:4±=1						投入工数	再任月	刊	0		
	統計・デー	9名(出典) 福岡県言祭小	-ムハーン統計						(単位:人)		年度月額	0.15	0.16	
				単位	R03年度	R04年度	中間目標	目標最終年度	(単位:人)	会計的	年度日額	0		
	成果目標			半四	RUS平度	1704年度	年度	年度		計		0.25	0.26	
			成果実績				-	-			十(千円)	1,160	1,188	
成果目標及び	成果指標		目標値							費用(4,714	4,966	
成果実績2	がから		達成度	%							正(千円)			
(アウトカム)	補足説明								総費用(千	円)※/	人件費等修正後	4,714	4,966	
									ļ					
		て用いた												
	統計・デー	メ石(山典)							ļ					

シートNo.	0415206		防犯·暴力追放対策			部·課·係	経営政策部	防災安全課	消防•安全係	
事業No.	J000135	開始年度	平成21年度	終了予定年度	子予定なし	施策コード	P1022	作成責任者	防災安全課長	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
横日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。 事	0	防犯パトロール車を持たない地域防犯推進団体からのニーズがある。	0	防犯パトロール車を持たない地域防犯推進団体からのニーズがある。
業 の 必 ・ 地域、民間等に委ねることができない事業なのか。 必	0	地域住民による防犯パトロールを実施していただいている。	0	防犯パトロール車の貸出を行い、地域住民による防犯パトロールを実施していただいている。
要性性 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	車両を持たない地域防犯推進団体へ防犯パトロール活動を推進するため、防犯パトロール車の貸出は必要である。	0	車両を持たない地域防犯推進団体へ防犯パトロール活動を推進するため、防犯パトロール車の貸出は必要である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
要益者との負担関係は妥当であるか。 事			_	
業 単位当たりコスト等の水準は妥当か。	0	防犯パトロール車は、地域防犯推進団体が防犯パトロール活動に使用するのみではなく、市職員が公用車 としても使用するため、コストの妥当性は判断しかねる。	0	防犯パトロール車は、地域防犯推進団体が防犯パトロール活動に使用するのみではなく、市職員が公用車としても使用するため、コストの妥当性は判断しかねる。
本 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され 性 ているか。	0	主に、防犯パトロール車の維持管理に要する費用である。	0	主に、防犯パトロール車の維持管理に要する費用である。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	=		=	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	Δ	防犯カメラの維持管理について、映像データ取得には現地にて作業する必要があり非効率である。	Δ	防犯カメラの維持管理について、映像データ取得には現地にて作業する必要があり非効率である。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_		_	
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと の 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	_		-	
有 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 効	_		-	
性整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	Δ	防犯カメラの映像データ管理業務について、防犯カメラの機種が様々であることから非効率的になっている。	Δ	防犯カメラの映像データ管理業務について、防犯カメラの機種が様々であることから非効率的になっている。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 連 課名	_		-	
連番				
事業名		 刑法犯認知件数は以前よりは比較的、減少傾向で一定の効果があると評価されるが、増加にい刑法犯認知件数は以前よりは比較的、減少傾向で一定の効果があると評価されるが、増加にいかないように注意する必要がある。防犯カメラの映像データ管理業務が非効率であり、課題であ		 列法犯認知件数は以前よりは比較的、減少傾向で一定の効果があると評価されるが、増加にいかないように注意する必要がある。防犯カメラの映像データ管理業務が非効率であり、課題であ
善 善結 ・ 改善の方向性	防犯力	メラの映像データ管理に関して、クラウドシステム導入等による効率化が可能であるか検討する。	防犯力	」メラの映像データ管理に関して、クラウドシステム導入等による効率化が可能であるか検討する。

シートNo.	0415207	事務事業名	防犯灯設置、補助、	管理事業		部·課·係	経営政策部	防災安全課		消防·安全係	
事業No.	J000133	開始年度	昭和52年度	終了予定年度	冬了予定なし	施策コード	P1022	作成責任者 🛚 🖔	災安全課長		1/2ページ

	市民の防犯	厄及び交通安全に寄与する	ること									R03年度	R04年度	
事業の目的											当初予算	7,088	5,378	
争未の日内											補正予算			
									予算額・	予算	前年度から繰越			
		公共施設付近への防犯灯	の設置、市管	理防犯灯	の維持管理	!。また、行政	女区に対するLEI	D防犯灯新規	執行額	状況	翌年度へ繰越			
	設置費の	補助。							(単位:千円)		予備費等			
	【補助率】	の防犯灯の新規設置に要	するT重費の	2分の1以	内と1. 1/1	・当たりの限	き 類けい 下のと	±n			計	7,088	5,378	
事業概要		:架して設置する場合・・・・		27]0712	ואורט, ואו	コルツの成	支頭は以下のこ	.07.7			執行額	5.778	4.993	
	・支柱を建	設して設置する場合・・・・	50,000円								執行率(%)	82%	93%	
											歳入予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な収入内訳(名称等)
	小郡市防	犯灯設置補助金交付規程	<u> </u>							玉	庫支出金			
根拠法令、										_	支出金			
関係計画、										***	用料・手数料			
通知等											担金•負担金等			
							R05年度	R06年度			<u>连亚 负担亚牙</u> 			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			注	 		
活動実績1	活動指標	防犯灯設置費補助基数	活動実績	基	204	28	石劃光丛	石勒龙丛		1000	収入			
(アウトプット)			当初見込	基	296	65	65				越金			
							R05年度	R06年度			方債			
活動目標及び				単位	R03年度	R04年度	活動見込	活動見込			般財源	7.088	5,378	
活動実績2	活動指標	広域防犯灯設置数	活動実績	基	5	3			予算内訳 (単位: 壬四)	_	計	7,088	5,378	
(アウトプット)			当初見込	基	0	0	0		(単位:千円)		歳出予算	R03年度	R04年度	R04年度の主な使途
		算出根拠		単位	R03年度	R04年度				需	用費	3,488	4,161	防犯灯電気料、修繕料
			単位当たり	В	40,382.4	263,178.6					担金、補助及び交付金	3,600		防犯灯設置補助金
単位当たり			コスト	1.1	40,302.4	203,176.0				エ	事請負費		431	防犯灯新規設置工事
コスト	総費用/補	助基数	計算式	X/Y	8,238,000/ 204	7,369,000/ 28								
	成果目標	犯罪発生件数を減少させる		単位	R03年度	R04年度	中間目標年度	目標最終年度 年度						
			成果実績	件	171	197					<u> </u>		_	
成果目標及び	成果指標	刑法犯認知件数	目標値	件	165	171								
成果実績1			達成度	%	96	90					=1	7.000	F 070	
(アウトカム)	補足説明	1年間(1月~12月)に小郡	市内で発生し	た刑法犯認	知件数					.T. Reb 5	計		5,378	
	+EI +bii 1 1	780+								正職員再任用		0.2	0.2	
		,て用いた タ名(出典) 福岡県警察ホ-	-ムページ統計						投入工数		_刊 年度月額	0.35	0.32	
	пусы Г	/ L (H)//					中間目標	目標最終年度	(単位:人)		牛皮月銀 年度日額	0.35	0.32	
	成果目標	交通事故発生件数を減少さ		単位	R03年度	R04年度	年度	年度		計		0.55	0.52	
		せる	成果実績	件	150	145			人相	養合!	計(千円)	2,460	2,376	
成果目標及び	484		目標値	件	177	150			総費用			8,238	7,369	
成果実績2	成果指標	交通事故件数	達成度	%	85	97			人件費等の					
(アウトカム)	補足説服	小郡市内の1年間(1日~1	2日)での交通	事 故登生#	上数	•	•	•	総費用(千円)※人件費等修正後				7,369	
	補足説明 小郡市内の1年間(1月~12月)での交通事故発生件数													
		プロスティア (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田)	-ムページ統計											
	ל ומטעוי	/山(田天/												

シートNo. 0415207	事務事業名	防犯灯設置、補助、	管理事業	部・課・係	経営政策部	防災安全課	消防•安全係	
事業No . J000133	開始年度	昭和52年度	終 了予定年度 終了予定なし	施策コード	P1022	作成責任者 防災安全課長	:	2/2ページ

項目		令和4年度 事務事業担当課による点検・改善		<参考>令和3年度 事務事業担当課による点検・改善
坝 日	評価	評価に関する説明	評価	評価に関する説明
事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか。	0	行政区の要望に応じて、精査のうえ防犯灯の新規設置を行っている。	0	行政区の要望に応じて、精査のうえ防犯灯の新規設置を行っている。
業 の 必 世域、民間等に委ねることができない事業なのか。	Δ	防犯灯の維持管理に関しては、民間への業務委託が可能である。	Δ	防犯灯の維持管理に関しては、民間への業務委託が可能である。
要 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。 政策体系の中で優先度の高い事業か。	0	市内全ての防犯灯のLED化は達成されておらず、今後も推進していく必要がある。	0	市内全ての防犯灯のLED化は達成されておらず、今後も推進していく必要がある。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-		-	
一般競争入札、指名競争入札又は随意契約(プロポーザル)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		無	
競争性のない随意契約となったものはないか。	無		無	
■ 受益者との負担関係は妥当であるか。	0	防犯灯設置補助金の補助率の見直しを行った。	0	防犯灯設置補助金の補助率の見直しを行った。
業 の 単位当たりコスト等の水準は妥当か。	0	LED防犯灯灯具の市場価格が安価となったことに伴い、補助金の単位当たりコストが下がっている。	0	LED防犯灯灯具の市場価格が安価となったことに伴い、補助金の単位当たりコストが下がっている。
本 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定され 性	0	限定されている。	0	限定されている。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	_		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に 記載)	-		-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われている か。	Δ	市が管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。	Δ	市が管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	0	概ね見合っている。	0	概ね見合っている。
事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと の 比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	Δ	市が管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。	Δ	市が管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。
有 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 め	Δ	以前に比べ減少傾向にあるが、増加に転じないように注意する必要がある。	Δ	以前に比べ減少傾向にあるが、増加に転じないように注意する必要がある。
性整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	0	事業により設置された防犯灯は、地域の防犯や交通安全に寄与しており、市内の交通安全発生件数は減 少傾向にある。	0	事業により設置された防犯灯は、地域の防犯や交通安全に寄与しており、市内の交通安全発生件数は 少傾向にある。
関連する事業がある場合、他課等と適切な役割分担を 行っているか。(役割分担の具体的な内容を右に記載) 課名 連番	=		_	
事業名				
点 検 点検結果 ・		とについて、補助対象の内容の見直し(LED新規設置のみを対象)を行い、事業の適正化がなされが管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。		金について、補助率の見直し(LED取替の場合、5割補助から4割補助に変更)を行い、事業のがなされた。市が管理する防犯灯の修繕について、競争入札等によりコスト削減の余地がある。
改善 善 結 果 改善の方向性	更新に	「の管理について、データベース化と民間業者への委託を検討する。また、市が管理する防犯灯のごついて、計画的に行っていく。防犯灯の設置に付随する設備や工事等について、補助対象となる明確化する。	更新に	の管理について、データベース化と民間業者への委託を検討する。また、市が管理する防犯灯で こついて、計画的に行っていく。防犯灯の設置に付随する設備や工事等について、補助対象とな E明確化する。